



15 鬼神置物

山田鬼斎

一点

明治二十二年（一八八九）

木彫彩色

二一・五×二六・六×九三・五

右手で宝塔を掲げ、全身に力をみなぎらせる鬼神像である。軀部は一木造で、宝塔と岩座は別材による。表面は全体に着色されて暗色を呈しており、艶

がある。黒目の部分には黒檀であろうか、黒い木材を嵌め、さらにその輪郭に金輪を嵌めている。背面に「鬼斎作」の彫銘がある。作者の山田鬼斎（一八六四〜一九〇二）は、明治二十一年（一八八八）の京阪地方への古社寺宝物調査に同行し、古典彫刻の研究を深めた。本作は、その翌年の日本美術協会美術展覧会に出品され、宮内省に買い上げられた作品。この宝物調査による研究の成果が表されていることが見て取れる。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

明治美術の一断面——研ぎ澄まされた技と美

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 82

編集 宮内庁三の丸尚蔵館
制作 株式会社 東京美術
翻訳 黒川廣子
発行 宮内庁
平成三十年十一月三日発行

© 2018, The Museum of the Imperial Collections, Sanmomaru Shozokan